

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	神奈川県立相模原公園		
所在地	神奈川県相模原市南区下溝3277		
サイトURL	http://www.sagamihara.kanagawa-park.or.jp/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和54年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会・株式会社サカタのタネ		
指定期間	H21. 4. 1～H27. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて維持管理運営を確実に実施したと言える。各エリアの特色ある景観を重視し、維持管理に努めていた。利用促進事業に関しては提案内容を、更に具体化し、利用者の立場に立った事業の実施が多数見受けられ、実績に表れている。特に子育て支援を含んだレインボーピクニックやペットボトル再利用を寄せ植えプランターにする講座など、今までの利用者層に加え新たな集客の可能性を感じたため、特筆したい。</p> <p>◆利用状況 新聞、タウン誌をはじめとして近隣施設で作成している公園だより、路線バスへのポスター掲載など、可能な限りの活動のほか、タイムリーなプレスリリースや各エリアの特色を生かした管理を行い利用者には好評であった。園内の花修景にも力を入れ年間4万株の花による花壇管理は評価できる。目標値比では116.3%で16.3%のプラスとなったためS評価となった。また、前年度対比103.2%で3.2%のプラスとなった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が83%となったためA評価となった。</p> <p>◆収支状況 グリーンハウス内での機械や園内のベンチの修繕などで指定管理者ができる範囲の修繕を行い、113%の実施となったほか、植物管理では、フランス式庭園の芝生の張替えや日本庭園への植樹など各エリアの景観を重視し委託費が増え、114%になったが、施設管理及び清掃管理の委託費を複数年契約により経費節減を行ったため、全体の収支として100%以上となったため評価はAとなった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設や対応についてなどそれぞれに多少の苦情・要望はあったが、その都度改善できることは行っていた。また、アンケート等の要望についても、改善に努めていた。</p> <p>◆事故・不祥事等 全般的に事故防止に努めており、事故後の対応も速やかであった。</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をA評価とした。今後は、これまでの取組を継続するとともに、新たな提案による魅力の増大と管理運営の精度を上げることで、利用者の満足度向上に努めてもらいたい。</p>
S : 極めて良好な管理運営状況 A : 良好な管理運営状況 B : 一部改善が必要な管理運営状況 C : 抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	特になし	—
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	週1回程度	特になし
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	無	指導・改善勧告等の内容
		—

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>■花と緑と文化が薫るパークライフの創出</p> <p>くらしの中に緑を提供し、潤いと安らぎを与えゆとりある健康な暮らしを支え、新しい文化的要素を加えるとともに、全国都市緑化フェア整備を生かし、各エリアの特色ある修景づくりを行う。</p>	<p>フランス式庭園の特色を際立たせるために、噴水広場のボックスウッドはシャープな刈込を行うとともに、ベンチの補修にも力を入れ、利用者が安らげる空間になるよう、整備に力を入れた。</p>	<p>フランス式庭園を強調した噴水広場では、芝生の植替え、刈込みのほか、雪で折れたカイズカイブキの植替えを行いシンメトリックなフランス式庭園の魅力が感じられる維持管理を行っていた。また、老朽化したベンチも鮮やかに修繕され、利用者が増えたことは評価したい。</p>
<p>■花と緑と文化が薫る魅力的な公園づくり</p> <p>①「暮らし生活ゾーン」＝暮らしに役立つ県民参加の農作物収穫壁面緑化など緑化ゾーンの創出 など</p> <p>②「自然と遊びのゾーン」＝雑木林で子供が遊べる空間づくり</p> <p>③「自然と文化のふれあいゾーン」＝自然の中で文化を鑑賞できる場の提供</p> <p>④「自由に楽しむ広場ゾーン」＝快適に利用いただくための適切な芝生管理及び利用規制に実施</p> <p>⑤「花と緑のふれあいゾーン」＝噴水広場ビューポイントからの景観創出及び花壇・菖蒲園の花修景</p>	<p>①緑の街を会場にし、暮らしに役立つ講座を開講、ペットボトルの再利用法として、縦型プランターの制作とそれを使っての寄せ植え講習会を実施。出来上がったものは事務所前を華やかに装飾した。ペットボトルのプランターの作り方は、作り方のチラシを作成、配布し、緑化の普及に努めた。</p> <p>②コナラ・クヌギ他雑木林内の枝折れ、幹折れ等危険木の処理については速やかに処理を行い、安心して利用できる空間を提供した。また、自然体験を安定して園内で開催するために、リーダー養成講座等の開催をボランティア団体との協働で行った。</p> <p>③園内各所を利用しての春・秋のフラワーフェスティバルを開催し、地域の団体の協力により、伝統芸能、野点のほか、ツリークライミング・ポニーの乗馬体験などを実施した。</p> <p>芝生地においては基準書以上の高水準な芝刈りを行い利用者に快適な空間の提供を行った。また、犬の進入禁止エリアに景観に配慮しつつ、誰でもわかる様、杭を導入し明確にした。</p> <p>小さな子どもを持つ母親たちとの協働で芝生広場を使って実施した「レインボーピクニック」では未就園児を持つ家族の憩いの場となり、大好評であった。</p> <p>噴水広場の草花類についてサカタのタネオリジナル品種を用いるとともに相模原公園でしか見ることができない花修景に努めた。また、グリーンハウス廻りの水上花壇は、季節を感じられる花修景を実施した。</p> <p>ハナショウブについては本年の開花、修景だけでなく翌年の開花の充実の為、計画的に苗の株分け等を実施した。</p>	<p>秋の公園をペットボトルの再利用で華やかに飾り、利用者を楽しませていたが、講習会の開催についても、都市緑化の観点からも有意義である。</p> <p>安全に遊べる空間づくりを行うだけでなく、安全に遊ぶためのリーダー養成講座の開催は事業計画以上の実施であった。</p> <p>③④⑤各ゾーンの特性を生かし、そのゾーンにあった管理と空間の提供に工夫が見られ、利用者のニーズに合ったイベントを実施していた。</p> <p>また、犬の進入禁止エリアへの杭は景観への配慮がうかがえるとともに、その杭1本1本に禁止エリアである注意書きがあり評価できる。</p>

<p>⑥「温室の花と文化を楽しむゾーン（グリーンハウスエリア）」＝サカタのタネのノウハウを生かした魅力ある修景づくり</p>	<p>館内を一体的に使いサカタのタネオリジナル品種をふんだんに使い、季節を少し先取りした見ごたえのある特別展示を開催した。 トルコギキョウ展では記念撮影ができる場の提供を行い利用者に好評だった。 夏休み特別展についても、子ども達を楽しむだけでなく楽しく学ぶ展示を企画した「相模原公園で見られる鳥たち」では多くの親子連れが訪れた。</p>	<p>⑥グリーンハウスの入館促進のための工夫と努力がうかがえ、オリジナル感、ボリューム感ともに評価したい。</p>
<p>■花と緑にふれあう快適な生活空間の提供 来園者には感動を与え、自然、花、文化等を満喫していただける空間づくり</p>	<p>サカタのオリジナル品種を使った年間約4万株の植栽とグリーンハウスでの花展示を行った。 また、噴水広場の景観を活かし「真夏の夜のファンタジア」とライトアップとコンサートを開催した。</p>	<p>相模原公園ならではの花修景に努めよく管理されていた。 噴水広場でのライトアップとコンサートは真夏の閑散期に利用者を集める一つの手法として評価できるとともに、相模原公園の普段と違った景観を利用者に提供した企画として評価できる。</p>
<p>■県民の参加と協働による誰からも愛される公園づくり 様々な公園での活動を、県民と協働して進めることにより、誰からも愛される公園にする</p>	<p>都市緑化園として、様々なみどりに関する講座を開講し、講師を関係機関からのボランティアで開催し、それぞれ多くの参加者のもと実施してきた。また、県民と地域の団体で構成するイベント協力会の全面協力イベントを盛り上げることができた。また、地域団体に老朽化した日本庭園を造園の研修場所として提供し、風情ある庭園に改修し、完成式典を行い利用者に周知し、利用者の拡大を図った。</p>	<p>様々な切り口で行った緑に関する講座は、利用者が受講したいものを選ぶことができ、緑化普及として有用と言える。 また、老朽化による利用減少にあった日本庭園の整備は、県民・地域との協働の観点からだけでなく、一般の利用者にも有益な事業であったと言える。 また、相模原公園オリジナルの図鑑は利用者が、知りたい情報を得られる事業として評価できる。</p>

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
<p>駐車場の運営 公園利用者の利便性と安全性を確保し収益については駐車場管理運営費のほか、公園の利用促進、利用者サービスの向上、広報活動を充実する。 1/5～12/27までの土日祝日（7.8月は除く）</p>	<p>提案通り実施。計画額に対して88%の達成率となっている。</p>
<p>売店の運営 魅力ある公園として、一日中楽しめる施設で利用者サービスとして食事等の提供する。 一部委託</p>	<p>年度当初に提出した営業日について予定通り実施した。</p>
<p>自動販売機の設置 ○自販機メーカーによる機器の設置販売とし、販売品はリサイクルに配慮した商品とする。 ○自動販売機の、自販機の機能、販売商品、メンテナンス方式、防犯システム、災害対策システム等が充実した自販機の運営を継続して行い利用者サービスの提供を行う。</p>	<p>特に暑い夏場での自販機による飲料提供は利用者の水分補給に欠かせないものとなっている。また災害救援バンダーを導入しており、防災意識の高さがうかがわれる。</p>

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	〔参考〕直営／管理委託／指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1		744,923	696,089	718,530
対前年度比			93.4%	103.2%
目標値	〔目標値設定根拠〕	618,000	618,000	618,000
目標達成率	H22年度実績85%	120.5%	112.6%	116.3%

〔 参考：最大利用可能人数 〕

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	133%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	公園利用者の83%が満足、どちらかといえば満足と回答しており、概ね良好と判断します。

実施した調査の配付方法 利用者へ直接配布 回収数／配付数 105 / 105 = 100.0%
配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
	総合満足度の回答数	79	8	9	8	1	
回答率	75.2%	7.6%	8.6%	7.6%	1.0%		
前年度の回答数	116	30	1	1	0	148	
回答率の対前年度比	96%	38%	1269%	1128%	-		

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	237,591	236,977	236,984	243,802	※その他収入＝ 駐車場収入(自 主事業)
指定管理料	227,667	221,377	221,184	227,504	
利用料		3,214	2,952	2,438	
その他収入	9,883	8,639	8,560	8,987	
合計	237,550	233,230	232,696	238,929	
対前年度比		98.2%	99.8%	102.7%	
対計画比	100.0%	98.4%	98.2%	98.0%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	237,591	236,977	236,984	243,802	
支出額	238,142	230,997	229,000	238,271	
対前年度比		97.0%	99.1%	104.0%	
対計画比	100.2%	97.5%	96.6%	97.7%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画					
収支差額	-592	2,233	3,696	658	
対前年度比		—	165.5%	17.8%	
収入合計／支出合計の比率		101.0%	101.6%	100.3%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
H26.6月	1,897	案内板設置(950千円)、園路灯改修(947千円)
H26.12月	2,104	背なしベンチ座板交換工(980千円)他

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：300000円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	2 件	<ul style="list-style-type: none"> ・公園茶屋国界に入ったら、駐車料金を徴収された。食事をするだけなのに料金を払うのは納得できない ・ベンチをきれいにしてほしい。 ・駐車料金の値上がりに納得できない。 	<p>国界の店長と話し合いの結果、9月からの駐車場の料金徴収開始時までに誤解を招かないような駐車料金がかかるという表示を行う。</p> <p>老朽化しているベンチが多いため、計画的に修理を行っている。</p> <p>新年度からの料金改定について、料金表やチラシ等を各所に置くとともに、料金徴収場所配布し、理解をいただくよう努めた</p>
	面談	1 件		
職員対応	電話	2 件	<ul style="list-style-type: none"> ・警備員の態度が悪い配置換えを希望 ・注意をしていた警備員の配置換えは納得できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該警備員には注意する相手に対して言葉づかいなどを気を付けるよう注意し、警備会社と相談し、警備会社からの対応（状況をみて配置換えも検討）とした。 ・警備会社の担当より、当該警備員が異動になった経緯について説明し、納得いただいた。
		件		
事業内容	電話	1 件	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントのため周辺道路が混雑している何とかしてほしい。 	<p>駐車場待ちの車一人一人に声を掛け満車の案内を行い、渋滞緩和に努めた。</p> <p>また、次年度のイベントについて検討した。</p>
		件		
その他	電話	1 件	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈やプロワー作業の音がうるさい。事前に説明をするべきではないか。 	<p>作業実施の挨拶に伺った際、たまたまお留守だったため、作業を開始したところ、帰宅され、苦情となった。次回より、不在の場合文書をポストへ入れさせていただき事で納得していただいた。</p>
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
5月18日	児童が森の木展望台の砂場にあるマンホールに躓き、近くの縁石にアゴをぶつけて怪我をした。	前日遠足等が重なり、砂場の砂が減り、マンホールが出てしまっていた。森の木展望台からの雨水を集めるためのマンホールで、砂が減ると突出してしまう。	①砂を入れてカバーしていたが、今回の事故を受け、調査したところマンホールは使われていなかったため、マンホールの撤去と段差解消の土嚢設置及び砂の敷設を実施した。 ②マンホール撤去の相談を受け、了承。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。